

令和2年度（第43期）事業報告書

（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

（公財）岡山県郷土文化財団

I 事業実施状況

財団設立の目的である、「岡山県下に所在する優れた自然や文化的遺産の保護・保存及び管理とその利用の促進を図るとともに、岡山県ゆかりの先賢の顕彰並びに伝統に根ざした地域文化の創造を行うことにより「うるおい」と「やすらぎ」のある郷土づくりに寄与する」ことをめざし、県、市町村、民間団体、会員等と連携して次の事業を実施した。

(参考)

定款第4条第1項に掲げる事業

- (1) 優れた文化的遺産、自然景勝地、保護すべき動植物の生息地等(以下「文化財等」という。)の取得及び保護活用並びに先賢の顕彰に関する事業
- (2) 文化財等や先賢の事績等に関する資料の収集、保存及び公開並びに講演会等の開催その他知識の普及啓発に関する事業
- (3) 伝統に根ざした地域文化の創造及び振興に関する事業
- (4) 第1号から第3号までに規定する事業に関連するボランティアの育成及び支援
- (5) 第1号から第3号までに規定する事業に関連する受託事業
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

公1 文化財等保護活用事業(第4条第1号、第4号関係)

(1) 岡山の文化的遺産等の保護、活用に関する事業

① 備中漆復活支援

- ・ 備中うるし利活用協議会の事務局運営
令和2年度第1回協議会 10月14日(水)岡山県庁分庁舎
令和2年度上期事業報告・今後の予定、意見交換等
- ・ 後樂園和文化体験 和漆色絵付体験
8月12日(水) 参加者 19人

② 文化財庭園後樂園の保護・活用

- ア 後樂園の歴史的、文化的価値を国内外の人によりよく知っていただくための取組
 - ・ 第10回後樂園写真コンテスト及びカレンダー作成

募集期間 8月1日(土)～9月30日(水)

応募総数 230点

審査 10月6日(火)

表彰式 12月26日(土)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

写真展 令和3年2月26日(金)～3月4日(木)

※入場制限を行いながら実施 来場者数 340人

カレンダー作成 1,000部

- ・ TWILIGHT EXPRESS 瑞風への対応

後楽園内、延養亭等の有償ガイド対応(ガイド育成を含む。)

山陽・山陰コース(周遊)で毎週水曜日に立ち寄り

※4月から車両メンテナンス及び新型コロナウイルス感染症拡大により運行休止中

- ・ 「岡山後楽園史」、「岡山後楽園なるほど大百科」の頒布

イ 後楽園の入園者への利便性向上の取組

- ・ 音声ガイド、コインロッカー等のサービス
- ・ 記念メダル等の頒布

※音声ガイド及び記念メダルについては、4月から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用休止中

③ 自然保護事業

- ・ (公社)日本ナショナル・トラスト協会との連携

全国のトラスト活動について情報収集を行うとともに、行事等の情報提供を行った。

(2) 岡山県ゆかりの先賢の顕彰に関する事業

① 「内田百閒記念碑園」の維持管理

岡山県から土地の貸与を受け、岡山市中区小橋町旭川河川用地内に寄附金等により整備した「内田百閒記念碑園」の維持管理を実施

② 岡山県庁分庁舎(旧三光荘)百閒コーナーの管理

岡山県の要請により整備に協力した「百閒コーナー」について、財団

自らが管理を実施

③ 「池田光政公御涼所跡」の維持管理

岡山市北区中原地内の県有地に寄附金等により復旧・整備した「池田光政公御涼所跡」の維持管理を地元町内会に委託して実施

公 2 普及啓発事業(第 4 条第 2 号関係)

(1) 資料の収集、保存・公開

① 内田百閒等関係資料の寄託受入

整理中

② 内田百閒及び生田安宅（医学者）資料の保存、公開

遺族などから寄贈された内田百閒及び生田安宅ゆかりの品々を保存、資料提供した。

③ 財団収集資料の公開

ア 植物関係図書・文献等の整理公開

・植物研究家難波早苗氏から譲渡された資料（書籍約 5,300 冊、雑誌約 7,000 冊）を岡山県立図書館に寄託（「難波早苗文庫」）

・同植物標本（約 3,300 点）を岡山県自然保護センターに寄託

・植物関係図書を引き続き定期購読して、岡山県立図書館に寄託

イ 郷原漆器資料の公開

・財団が郷原漆器復活のために収集した郷原漆器（約 60 種類、約 7,000 点）を岡山県立博物館に寄託

ウ 郷土画家の秀作の公開

・財団が購入及び寄贈を受けた郷土画家の秀作（6 人、10 点）を岡山県立美術館に寄託

エ 資料の特別利用件数

14 件

(2) 講演会・研修会等の開催

① 郷土文化講座の開催

岡山の自然・歴史・文化等について理解を深めるため、専門の講師を招いて郷土文化講座を開催

※昨年度、新型コロナウイルス感染症拡大のため延期した2講座（ア、イ）と今年度分を開催（ウ、エ、オ）

ア 「岡山の土木遺産－地域資産としての保存と活用－」

9月15日（火）

講師 樋口輝久（岡山大学大学院環境生命科学研究科准教授）

参加者22人（うち会員12人）

イ 「岡山市域の古典籍をめぐって

－正宗敦夫から池田光政・綱政へ－」

9月26日（土）

講師 原 豊二（天理大学文学部教授）

参加者19人（うち会員11人）

ウ 「高梁市の歴史と文化－文化財の視点から－」

令和3年2月17日（水）

講師 田村啓介（高梁市教育委員会参与）

参加者30人（うち会員23人）

エ 「倉敷市南山城跡の発掘調査成果」

令和3年3月4日（木）

講師 米田克彦（岡山県古代吉備文化財センター主幹）

参加者31人（うち会員21人）

オ 「坪田譲治 故郷岡山から生まれた作品世界」

令和3年3月16日（火）

講師 山根知子（ノートルダム清心女子大学教授）

参加者26人（うち会員11人）

② 第10回おかやま文化フォーラム（令和3年6月13日に延期予定）

③ 現地研修会

郷土ゆかりの自然や文化財を現地に訪ねて学習するとともに、県内美術館、博物館等の優れた美術品の鑑賞会等を開催した。

ア 備前長船刀剣博物館 特別陳列 国宝「太刀 無銘一文字（山鳥毛）」

観覧

9月16日（水）

事前完全予約制 最大一枠6名観覧。

※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、現地集合・解散とした。参加者には刀剣ゆかりの場所を案内。各自、見学した。

イ 地図を持って岡山城下町と百聞ゆかりの地を歩く現地研修会

講師 万城あき（岡山県郷土文化財団主任研究員）

※昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響で延期していたため、5月29日に開催を予定していたが、感染症拡大のため再度延期し、参加希望者が多数だったため、2日間にかけて実施した。

令和3年3月3日（水） 参加者20人（うち会員18人）

令和3年3月10日（水） 参加者17人（うち会員12人）

④ 特別解説会等

県内美術館、博物館等の特色ある企画展等において、企画の意図や見どころなどについて理解を深めるため、担当学芸員等による特別解説会を開催

ア 「林原美術館企画展『博学多才ー池田宗政の学びとその生涯ー』岡山後楽園『延養亭特別公開』特別解説会」

10月21日（水）

講師 槌田祐枝（林原美術館学芸員）

万城あき（岡山県郷土文化財団主任研究員）

参加者18人（うち会員13人）

イ 吉備路文学館特別展「尾上柴舟展ー詩・歌・書ー」・祝・ブッカー国際賞最終候補ノミネート記念企画展「密やかな小川洋子の世界展」特別解説会

令和3年2月10日（水）

講師 明石英嗣（吉備路文学館館長）

友森陽香（吉備路文学館学芸員）

参加者15人（うち会員6人）

※新型コロナウイルス感染症の影響でバス使用不可のための代替

(3) 講師の派遣

後楽園や岡山の先賢の事績等に関する講座等に事務局から関係職員を派遣した。(17件)

(4) 定期刊行物、映像資料、印刷物等の作成、頒布

① 定期刊行物

ア 広報誌「きび野」の発行

第158号(6月)、第159号(9月)、第160号(1月)

第161号(3月) 各4,000部

イ 財団ニュース「お知らせ」送付

3回 2,000部/回

② 県民愛唱歌「みんなの心に」の頒布

③ ホームページの更新等 随時

④ 既作成の映像資料、印刷物等の頒布 随時

岡山県自然・文化財シリーズ、岡山県人物シリーズ、文化財団のあゆみ等

岡山県自然・文化財シリーズDVD祭りシリーズ3編(「当番祭」、「加茂大祭」、「お田植え祭」)を岡山県視聴覚センターに提供し、字幕スーパー入りで放映予定

公3 地域文化振興事業 (第4条第3号関係)

(1) 地域文化の創造、育成に関する事業

① 会員作品展

※5月19日～24日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

② 郷土文化財団クラシックコンサート

オーケストラがやって来た!

場所 勝央文化ホール(勝田郡勝央町)

※8月23日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡

大のため延期し、令和3年8月1日に開催予定

- ③ 県内各地で開催される各種文化活動の共催、後援
後援 岡山の美術特別展「THE 備前」ほか54件

(2) 苗木交付事業

ふるさとの景観を美しくするために梅、桜、桃などの苗木を、希望する市町村や団体に無料で交付

- ・備前市 小粒南高梅 100本交付

植栽場所：八塔寺ふるさと村内（約3,000㎡）

公4 受託事業(第4条第5号関係)

(1) 文化財庭園「後樂園」の管理運営受託

① 管理業務

ア 園地、亭舎、樹木等の維持管理（小修繕を含む。）

イ タンチョウの飼育

② 運営業務

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により4月20日（月）～5月31日（日）まで休園

ア 入園業務

入園券の販売、改札、入園料の収入代行等

早朝開園（試行） 9月1日（日）～9月30日（月）

午前6：30から開園

10月1日（火）～11月30日（土）

午前7：00から開園

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため早朝開園は中止

イ 亭舎貸出

園内亭舎の貸出予約受付、貸出に伴う連絡調整、使用料の収入代行等

ウ 入園者等への情報提供

パンフレットの作成・配付、園内行事・施設の案内等

エ 後楽園専任ボランティアの育成、実施調整等

(ア) 「後楽塾」の育成及び実施調整

・16期生募集

基礎講座（11月から3月まで15回）

修了後、出発式～2023年3月31日（木）までの2年間ボランティア活動

応募状況 男性6名、女性3名（うち外国語応募3名）

入塾状況 男性6名、女性3名（うち外国語3名）

(イ) 後楽園登録制ボランティア「キラリ応援隊」

・ガイド活動実施調整

・清掃部門の実施調整

③ 行事等運営

ア 伝統年中行事

(ア) 茶つき祭 5月17日（日）

美作市海田茶摘み踊り保存会

(イ) お田植え祭 6月14日（日）

哲西町はやし田植え保存会

神代郷土民謡保存会

(ウ) 観蓮節 7月5日（日）

延養亭での箏曲演奏、茶席

(エ) 名月観賞会 10月1日（木）

延養亭での箏曲演奏、茶席

(オ) 松の菰巻き 10月14日（水）

(カ) 菊花大会 10月18日（日）～11月15日（水）

(キ) 後楽能 11月3日（火・祝）

(ク) 新春箏曲の会 令和3年1月1日（金）

(ケ) 芝焼き 令和3年2月3日（水）

(コ) 松の菰焼き 令和3年2月17日（水）

※（ア）～（エ）及び（ク）～（ケ）は、新型コロナウイルス感染症

拡大防止のため中止

イ 後楽園の伝統行事等に併せた行事等へ彩りを添える取組

(ア) タンチョウの園内散策

9月30日(水)、10月16日(金)、10月23日(金)、
10月30日(金)、11月9日(月)、12月11日(金)、
12月18日(金)、1月1日(金・祝)、1月3日(日)

※11月9日(月)、12月11日(金)、12月18日(金)、
1月1日(金・祝)、1月3日(日)は高病原性鳥インフルエンザ
が発生していることを受け中止

ウ 後楽園の魅力発信のための取組

(ア) 初夏の延養亭特別公開

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった
ため、「WEB 延養亭特別公開」を作成し、後楽園公式動画サ
イトで公開

(イ) お田植え体験会 6月15日(月)

岡山市立岡山中央小学校5年生

(ウ) 稲刈り体験会 10月7日(水)

岡山市立岡山中央小学校5年生

(エ) 秋の延養亭特別公開

10月19日(月)～25日(日)

午前9時30分から1日6回 各回20分程度

参加者271人

(オ) 延養亭復元六十周年記念フォーラム

11月22日(日)

・延養亭特別公開

・記念講演「延養亭復元六十周年に寄せて」 講師：万城あき

(カ) 庭しごと体験講座「苔を楽しむ」の開催

12月23日(月)

参加者13人

※(ア)～(ウ)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
中止

エ 後楽園の歴史的、文化的価値を国内外の人によりよく知っていただくための取組

(ア) 後楽塾（後楽園専任ボランティア）等の育成、活動支援

園内ガイドに必要な歴史的知識を提供し、定期的にミニ講座等でフォローアップに努め、サポートを行った。

(イ) 後楽園公式HPの更新協力

オ 後楽園魅力向上委員会事業への協力

(ア) 春季夜間特別開園「春の幻想庭園」

5月1日(金)～5月10日(日)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(イ) 夜間特別開園「幻想庭園」 8月1日(土)～31日(月)

(ウ) 秋季夜間特別開園「秋の幻想庭園」 11月20日(金)～29日(日)

カ 後楽園の魅力発信のための財団の受託事業

(ア) 感動体験プログラム事業

・「和文化体験」

新型コロナウイルス感染症の影響により講座数及び参加定員数を減らして開催

岡山後楽園「幻想庭園」開催期間中の7日間 8講座

参加者 110人

※和漆色絵付体験含む。

県と共催、岡山後楽園鶴鳴館

予約のあった来園者に華道、日本舞踊、水墨画などの体験を通し、和文化にふれていただいた。

・「座敷で楽しむ」 県と共催

定期開催 原則毎月第一、第二、第三金曜日

園内建物の無料公開と簡単な和文化（折り紙等）の体験を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により4月～6月は中止となった。7月からは感染症防止対策のため、専任ガイドによる建物の歴史や後楽園のみどころの解説のみとし、来園者が通常入れない建物からの景色等を楽しんでもらっ

た。（会場は鶴鳴館、和文化体験は中止）

令和2年7月3日（金）～令和3年3月19日（金）

参加者 1049 人

- ・「水墨画体験会」県と共催

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により6月と1月は中止となった。

感染症防止対策のため、一度に体験できる人数に上限を設け（8人）、飛沫防止パネルの設置等をしたうえで実施

9月10日（木）、令和2年11月12日（木）、令和3年3月4日（木）

参加者 37 人

- （イ）TWILIGHT EXPRESS 瑞風への対応

鶴鳴館貸出、延養亭特別公開対応

山陽・山陰コース（周遊）で毎週水曜日に立ち寄り

※4月から車両メンテナンス及び新型コロナウイルス感染症拡大により運行休止中

（2） 岡山の先賢を顕彰する「犬養木堂記念館」、「岡崎嘉平太記念館」の指定管理

① 犬養木堂記念館

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により4月25日（土）～5月7日（木）まで休館

ア 基本的事業

（ア）記念館、木堂生家、木堂塾等（駐車場、墓地を含む。）の施設及び設備等の来館者への提供

（イ）犬養木堂に関する資料の収集（寄附、寄託）・保管及び展示

（ウ）犬養木堂に関する専門的な調査研究等

（エ）記念館、木堂生家、木堂塾の施設及び設備等の維持管理（小修繕を含む。）

（オ）記念館等に係る行為の許可

イ 企画事業等の概要

(ア) 第26回 犬養木堂顕彰児童生徒書道展

令和2年3月15日(日)～4月24日(金) 入館者 972人

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、5月6日までの会期を短縮

特別賞 25点 入賞 412点 入選 1,166点

(イ) 木堂をしのぶ特別展示～木堂祭にかえて～

5月13日(水)～5月17日(日) 入館者 115人

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、毎年5月15日に開催している木堂祭を中止し、代わりに木堂のデスマスクや事件を伝えた報道新聞など、木堂をしのぶ資料を展示

(ウ) 犬養木堂記念館所蔵 一品展37

5月23日(土)～6月21日(日) 入館者 606人

父「木堂」が息子「健」へ書き贈った書を展示。併せて娘「信」へ贈った書も展示した。

(エ) 夏の特別展「木堂の屏風展」

8月1日(土)～8月31日(月) 入館者 745人

記念館が所蔵する木堂がしたためた書が屏風仕立てとなった作品を一堂に展示した。

(オ) 秋の企画展「犬養木堂の趣味」

10月7日(水)～12月3日(木) 入館者 1,934人

新たに犬養家から木堂直筆の刀剣目録が寄託されたので、木堂と刀剣について紹介するとともに、囲碁や園芸、俳句など木堂の趣味についての資料を展示した。また、10月25日(日)午後には、学芸員による展示解説会も行った。

(カ) 謎解きゲームイベント「木堂が遺したメッセージを探せ！」

11月14日(土)～11月23日(月) 入館者 666人

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、11月15日に開催を予定していた「紅葉と和文化を楽しむ会」を中止し、代わりに館内に隠された謎を解きながら木堂に親しんでもらうゲームイベントを開催した。

(キ) 新春特別陳列「丑年の木堂」

令和3年1月6日(水)～1月31日(日) 入館者 572人

新春にちなみ、木堂の年賀状や、令和3年と同じ干支「丑」年の木堂の活動を紹介した。

(ク) 犬養木堂記念館所蔵 一品展 38

令和3年1月16日(土)～2月14日(日) 入館者 740人

木堂が昭和3年から昭和7年の年始に自作した詩などを、自筆で書き記した冊子「木堂^{いんご}韻語」を展示、収録されている内容をパネルで詳しく紹介した。

(ケ) 第27回 犬養木堂顕彰児童生徒書道展

募集期間 7月～10月23日(金)

応募点数 3,965点

審査 12月8日(火)

表彰式 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

展示 令和3年3月14日(日)～5月5日(水)

(コ) 木堂記念館主催の企画展(4回)を対象としたスタンプラリー

全企画展見学者でスタンプを4つ集めた方に記念品をプレゼントした。

(サ) 記念館駐車場看板のリニューアル(県事業)

駐車場に設置していた従来の看板が、小さく目立たなかったため、宣伝効果が期待できるより大きなものにするとともに、企画展ごとの告知が可能な仕組みにした。

(シ) 木堂紹介映像の制作

来館者に対しロビーで上映していた木堂の紹介映像(約25分)を、県からの委託を受け、新たに木堂の動画や写真などをできるだけ多く取り入れ、見やすくわかりやすいものにリニューアル(約15分)した。

また、記念館をPRするため、記念館と生家の魅力を伝えるYouTube用の動画(2分)を作成し、木堂紹介映像の短縮版(約7分)と併せてアップした。

(ス) 資料の受け入れ等

・寄贈資料 9件 51点

- ・ 寄託資料 1 件 1 点
 - ・ 購入資料 該当なし
- (セ) 行為の許可件数等 42 件

② 岡崎嘉平太記念館

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により 4 月 25 日（土）～ 5 月 7 日（木）まで休館

ア 基本的事業

- (ア) 記念館設備等の来館者への提供
- (イ) 岡崎嘉平太に関する資料の収集（寄附、寄託）・保管及び展示
- (ウ) 岡崎嘉平太に関する専門的な調査研究等
- (エ) 記念館設備等の維持管理
- (オ) 記念館等に係る行為の許可

イ 企画事業等の概要

- (ア) 第 1 4 回「嘉平太が愛したふるさと岡山写真展」

募集期間 令和元年 8 月～令和 2 年 3 月 2 日（月）

応募総数 177 点

審査 令和 2 年 3 月 29 日（日）

表彰式 5 月 16 日（土） 中止

写真展 記念館会場 来館者 1,108 人
4 月 16 日（木）～ 6 月 18 日（木）

岡山県天神山文化プラザ会場 来場者 340 人
7 月 14 日（火）～ 7 月 19 日（日）

- (イ) 令和 2 年度「岡崎嘉平太記念館 わくわく科学塾」 中止

岡崎嘉平太氏の「創造」の書には、“新しい技術を開発しないかぎり日本の未来はない。未開拓な科学技術の分野の研究を応援する” という氏の若い人への期待が込められている。その思いを伝えるべく地元小学校の児童に身近に科学にふれ合う機会を提供

- (ウ) 岡崎嘉平太国際奨学財団第 30 期生岡山研修の受入

11 月 14 日（土） 奨学生 4 名来町

毎年来町し、岡崎嘉平太記念館見学、嘉平太氏の出身校大和小

学校の児童との交流（中止）、嘉平太氏の碑が建つ大和山山頂で桜の植樹等、地元の方々との交流を深めている。

(エ) 絵手紙をかく会 中止

(オ) 夏休みミニ企画展 来館者 1,212 人

「旭川荘アートギャラリー作品展」

7月23日（木）～8月31日（月）

旭川荘アートギャラリーは、社会福祉法人旭川荘関連施設の利用者が制作した絵画や立体作品を常時展示替えを行いながら開館している。2019年には旭川荘と親交の深い中国・上海でも初の作品展が開催された。日中友好に尽力し、生前は吉備高原都市内の福祉事業にも関係していた岡崎氏。この度「日中友好」と「福祉」をキーワードに、同ギャラリーの素晴らしい作品61点を展示紹介

(カ) 秋の特別企画展「寄贈品にみる－岡崎嘉平太氏の生涯を織り成した人々」

9月19日（土）～12月27日（日） 来館者 981人

(キ) 岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第19回講演会
日時 10月19日（月） 中止

場所 吉備高原リゾートホテル 3階大ホール

講師 小長啓一氏（一般財団法人 産業人材研修センター理事長）
出口隆一氏（旭川荘アートギャラリー館長）

(ク) 新春ミニ企画展「岡崎嘉平太記念館の目正月展」

令和3年1月16日（土）～2月4日（木） 来館者 164人

嘉あちゃんの部屋で同時開催「みんなで千羽鶴大作戦」

(ケ) 第13回嘉平太が愛したふる里の子ども作品展

令和3年2月20日（土）～3月1日（月） 来館者 148人

(コ) 「企画展示室」「嘉あちゃんの部屋」利用促進 ミニ企画展

・吉備高原の日々を楽しむ 四季の絵画とうつわ 浅野眞・威子展
4月24日（金）～6月18日（水） 来館者 595人

・2019年度 岡山県自然保護センター写真展

10月1日（木）～10月31日（土） 来館者 318人

・新山の思い出展

令和3年3月1日（月）～3月7日（日） 134人

- ・友を偲んで二人展

令和3年3月12日（金）～4月11日（日） 来館者 681人
（～3/31 433名 4/1～4/11 248名）

（サ）出前講座

学校での道徳・社会の授業や総合学習など、また公民館などでの人権・文化講座において出前講座を通して普及活動に取り組む

- ・岡山丸の内ロータリークラブ例会 受講者 35人
- ・岡山県日中友好協会セミナー 受講者 23人
- ・玉野市日中友好協会セミナー 受講者 41人
- ・浅口市日中友好協会セミナー 受講者 15人
- ・岡山県立岡山朝日高等学校 受講者 380人
- ・学術団体日本振興会 受講者 60人

（シ）「岡崎嘉平太記念館だより」の発行

岡崎嘉平太記念館の活動報告や今後の予定、寄贈品紹介などを年2回配布

（ス）岡崎嘉平太記念館公式Instagram開設

吉備高原都市Instagramに参加

（セ）資料の受入等

- ・寄贈資料 2点
- ・購入資料 該当なし

（ソ）行為の許可件数等 8件

（3） 岡山県自然保護センター

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により4月25日（土）～5月7日（木）まで休所

① 受託事業（再委託）

- ア タンチョウ飼育に関すること
- イ 傷病鳥獣の保護に関すること
- ウ 企画事業等

（ア）スペシャルイベント ハスとタンチョウ（撮影会）

7月12日（日） 中止

7月19日（日） 中止

(イ) 友の会行事 タンチョウ写生大会とクラフト

8月2日（日） 参加者 73名

(ウ) スペシャルイベント タンチョウえさやり体験&記念撮影会

8月23日（日） 参加者 46名

2月28日（日） 中止

(エ) スペシャルイベント 紅葉とタンチョウ（撮影会）

11月14日（土）、15日（日） 中止

11月21日（土）、22日（日） 中止

(オ) タンチョウ散策

アオ（H16年生）・ロクハ（H15年生）・ワケタン（H29年生）

10時20分～12時まで 数回

9月：26日、27日、28日

10月：3日、4日、5日、12日、14日、18日、19日

22日、24日、25日、26日、28日、29日

11月1日（南壽あさ子コンサート&タンチョウ散策）

※11月29、12月6日、13日、2月28日及び11月7日～1月22日までの池での展示は、高病原性鳥インフルエンザが発生していることを受け中止

(カ) 外部展示

コロナ感染拡大防止のため中止

(キ) 2020年夏のボランティア体験受入

今年度中止

(ク) インターンシップ研修の受入

今年度中止

② 職員派遣による対応

派遣職員1名（事務管理及びタンチョウ関係経理）

(4) 第十五回岡山県「内田百閒文学賞」の募集等に関する業務

岡山県が生んだ名文筆家 内田百閒の生誕百年を記念して創設された

「内田百閒文学賞」を岡山県と共催で運営しており、岡山にゆかりのある作品を全国から募集・贈賞することにより、本県の文化の振興を図り、岡山の魅力を全国に発信する。令和2年度は、作品の審査を実施した他、財団独自の取組として、受賞作品の刊行・頒布等を行った。

主催 岡山県、（公財）岡山県郷土文化財団

後援 岡山県教育委員会

運営委員会 6月29日（月）開催 審査要領、審査体制の決定

- ・応募作品数 396編
- ・第一次審査会 8月21日（金）
- ・第二次審査会 9月18日（金）

※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、広い会場に変更・アクリル板設置等を行ったうえで、審査会を実施

- ・最終審査会 11月27日（金）

贈賞作品（最優秀賞1編、優秀賞2編）の決定

※最終審査員小川洋子氏、平松洋子氏、松浦寿輝氏は、いずれも県外在住のため、オンライン会議により最終審査を行った。

なお、今回から表彰式・座談会を次年度に開催することとなった。

- ・表彰式 令和3年4月27日（火）

座談会 表彰式後に開催

（参考） 管理施設等入園（館）者数 (人)

施設名	令和2年度 3月末㊦	令和元年度 3月末㊧	㊦－㊧
岡山後楽園	360,304	832,677	△472,373
犬養木堂記念館	8,631	11,054	△2,423
岡崎嘉平太記念館	12,471	14,824	△2,353
自然保護センター	33,646	32,438	1,208